株式会社クラレ「2024 年度第 2 四半期決算説明会」質疑応答要旨

日　時　　2024 年 8 月 9 日（金）　14:30～15:30
場　所　　クラレ本社　21 階　大ホール　※会場と配信のハイブリッドにて実施
説明者　　代表取締役社長　川原 仁
　　代表取締役　専務執行役員　経営企画室担当　多賀 敬治
　　常務執行役員　イソプレンカンパニー長 兼 ジェネスタ事業部長　池森 洋二
　　IR・広報部長　滝沢 慎一

１．主要製品の数量伸長率

	23 年上期実績 →24 年上期実績	24 年上期実績 →24 年下期計画
ポバール樹脂	＋約 20%	▲10%強
光学用ポバールフィルム	＋約 10%	＋5%弱
高機能中間膜	▲5%強	若干プラス
水溶性ポバールフィルム	＋5%強	＋約 10%
〈エバール〉	▲約 10%	＋約 10%
エラストマー	＋15%強	＋5%強
〈ジェネスタ〉	＋10%弱	＋15%強
活性炭	＋5%弱	＋15%強
ビニロン	▲5%強	＋約 10%

２．質疑応答

Q1　　ビニルアセテートセグメントの 24 年 1Q から 2Q にかけての減益の背景について。

A1　　24 年 1Q から 2Q にかけては、ポバール樹脂、光学用ポバールフィルム、水溶性ポバールフィルム、〈エバール〉の数量増などにより売上は 100 億円強の増収となった一方、営業利益は 60 億円弱の減益となった。主な要因は、2Q に実施した米国の〈エバール〉工場の大規模定修およびポバール樹脂工場の定修による影響。また在庫評価差額や操業度なども影響している。

Q2　　〈エバール〉の需要動向について。

A2　　23 年中頃から食品包装用途の需要が少し減退し、積みあがっていた流通在庫の調整などがあり、23 年後半は数量が落ち込んだ。足元需要は回復しつつあるが、欧州を中心に景気がまだ順調ではないことから厳しめに見ている。一方で、今年 3 月のシンガポール新プラントの投資決定時に説明したとおり、サーキュラーエコノミーといった新しい需要が徐々に増えていくと見ている。

Q3　食品包装用途における〈エバール〉を使用した包装材のモノマテリアル認定について。

A3　包材の構成で〈エバール〉が重量ベースで 5%未満、他の層が例えばポリエチレンのみであればモノマテリアルと認定されてリサイクルが可能ということになる。業界団体がガイドラインを定めている。当社も議論に加わりデータを提出している。

Q4　イソプレンセグメントの事業環境および下期の赤字について。

A4　イソプレンケミカル、エラストマー、〈ジェネスタ〉の 3 事業とも自動車用途を中心に需要は回復基調にある。〈ジェネスタ〉では電気・電子用途の需要も回復してきている。ただし、まだ回復途上であり、下期にかけて販売数量は増えるが、全体から見れば稼働率が不十分であり、利益は多少の改善にとどまる。

Q5　〈ジェネスタ〉の成長ドライバーについて。

A5　PC・パソコン・タブレット・スマホ等に使用される電気・電子部品の実需が戻ってきている。加えて、今年に入ってから生成 AI の普及拡大に伴いデータセンターのサーバー向けの需要が強くなっている。同用途には〈ジェネスタ〉も採用されており、今後も成長が見込まれる。
また、耐熱性、対高電圧性などの特長を活かし、EV をはじめとする自動車用途でも成長が見込まれる。

Q6　環境ソリューション事業部の活性炭の事業動向について。

A6　活性炭は、大きなトレンドとして、米国を中心に PFAS 規制強化を背景とした浄水用途の引き合いが増えている。本格的な需要の伸びは少し先だと考えているが、足元でも出荷は増えている。ただし、足元は欧州の産業用途の需要が弱い影響を受けている。

Q7　スライド 6 ページの最適化・体質改善事業、構造改革について。

A7　様々な事業があり、各事業でライフサイクルもある。経済的価値、社会・環境価値に加えて、成長性を軸として製品・事業を評価しており、今後も最適化・体質改善事業に該当する事業はあると考えている。この中で、収益を改善し、成長・拡大事業、基盤事業に移行できる場合もあれば、客観的に判断して残念ながら縮小・撤退の判断をするケースもある。客観的に評価をするためのフレームワークができたと考えており、このフレームワークを検証、充実させながら、中期経営計画期間中だけではなく、26 年より後も継続的に運用していく。

注意事項

本資料は、説明会でお話したこと全てをそのまま書き起こしたものではなく、理解しやすいように当社の判断で簡潔にまとめたものであることをご了承ください。

また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性 があることをご了承ください。

以上